

卒業研究		演習	准教授 菅谷 美沙都
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目	科目ナンバリング	11130401

1. テーマ

現代社会におけるスポーツの文化的な価値を考える：スポーツマネジメント・スポーツ社会学的アプローチ

キーワード：学校運動部活動，地域スポーツ，プロスポーツ，スポーツ施設，スポーツ指導者

2. ゼミのねらい・概要

スポーツは現代社会において極めて重要な社会現象です。オリンピック，サッカーワールドカップ等から学校運動部活動まで，多くの人々がスポーツとの関わり（する・見る・支える）を持つようになりました。その関わりは，果たして人々の生活を豊かにするものなのでしょうか。多くの学生の皆さんは部活動に取り組んでいる（きた）と思いますが，部活動は誰のため，何のために実践しているのでしょうか。本ゼミでは，皆さんに身近な問題を取り上げ，現代社会におけるスポーツの社会文化的な価値についてスポーツ経営学・社会学的視点で分析・考察できるようになることを目指します。

4年次では，3年後期で学んだ調査手法を活かし，調査内容及び手順を再検討した上で調査を実施し，データを分析・考察していきます。そして，卒業論文としてまとめます。

3. ゼミ計画

〈前期〉	〈後期〉
1. オリエンテーション	1. オリエンテーション（卒論完成に向けたスケジュール等）
2. 調査手法の振り返り（調査対象，調査項目等の検討）	2. データ分析①（データの整理，基礎集計）
3. 先行研究の検討①（学術文献の収集）	3. データ分析②（基礎集計）
4. 先行研究の検討②（テーマに関する情報収集）	4. データ分析③（項目間の比較，クロス集計）
5. 本調査の企画・設計①（調査目的，対象，調査項目）	5. データ分析④（考察と仮説検証）
6. 本調査の企画・設計②（調査項目，仮説）	6. 卒業論文の執筆①（研究の背景，目的，方法）
7. 本調査の企画・設計③（調査票の作成）	7. 卒業論文の執筆②（データの整理）
8. 本調査の企画・設計④（調査票の作成と印刷）	8. 卒業論文の執筆③（図表の作成）
9. 本調査の企画・設計⑤（趣旨説明書等の準備）	9. 卒業論文の執筆④（調査結果，考察）
10. 本調査の実施①	10. 卒業論文の執筆⑤（考察，結論）
11. 本調査の実施②	11. 卒業論文の執筆⑥（結論，課題）
12. データ入力①（ナンバリング）	12. 卒業論文の執筆⑦（論文の推敲）
13. データ入力②（クリーニング）	13. 卒業論文の執筆⑧（添削後の修正）
14. 進捗状況の発表，意見交換	14. 卒業論文の仕上げ，製本
15. 前期のまとめ	15. 後期のまとめ

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

自分の研究テーマに関する文献収集や先行研究の検討など，ゼミ以外の時間で週3～4時間程度は卒業研究に努めること。調査実施にあたっては，調査対象者に対して調査の趣旨と実施概要の説明を丁寧に行うことが必要です。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

ゼミ時間内に適宜，個別にコメントします。卒業論文については，ゼミ内での報告会時に講評を行います。

6. ゼミにおける学修の到達目標

卒業論文の作成を通じて，論理的思考力や考察力，課題解決力を高めていきます。また，データ分析や文章作成のスキルも習得します。

7. 成績評価の方法・基準

ゼミでの積極的な発言（40%）、卒業研究への取り組み方（30%）、成果物（30%）等を総合的に評価します。

8. テキスト・参考文献

テキストは特に指定しません。参考文献は、各自の研究テーマに即して適宜紹介します。

9. 受講上の留意事項

ゼミはゼミ生の皆さんでつくるものです。他者の意見に耳を傾け、皆が気軽に意見を言い合える環境をつくっていきましょう。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当します。本ゼミは、競技スポーツ組織における実務経験を活かして指導します。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。